

ミュージアム
Muse

kumamoto

8
Vol.



感性が研ぎ澄まされる
ミュージアム

南阿蘇ルナ天文台(2ページに紹介記事あり)

【見どころ紹介】

リデル、ライト両女史記念館
熊本県立装飾古墳館
八代市立博物館 未来の森ミュージアム

【コレクション紹介】

山江村歴史民俗資料館
【博物館のお仕事】
南阿蘇ルナ天文台

【博物館紹介】

熊本市現代美術館
天草ロザリオ館

※新型コロナウイルス等による休館の可能性あります。
ホームページで確認してください。



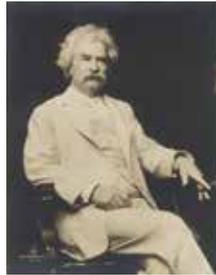
リデル、ライト両女史記念館

期間: 2023年4月2日(日) ~ 12月24日(日)

開館時間: 午前9時30分 ~ 午後4時30分 休館日: 月曜日 入館料無料

ハンナ・リデルのマーク・トウェインへの「The LETEER展」～北米への旅～

ハンナ・リデルは1907年に北米へ回春病院(ハンセン病院)の資金を求めて旅行しました。ニューヨークの滞在先からマーク・トウェインへ出したリデルの自筆のレターが、昨年115年ぶりに発見されました。2023年の企画展では、マーク・トウェインへのレターや北米でのハンセン病啓発活動について展示します。また、リデルが日本を出発する前に、大隈重信へアメリカの有力者の紹介を依頼した手紙やマーク・トウェインの故郷ハートフォードでの講演会の新聞記事など、アメリカの資料、旅行後の回春病院の発展の歴史もご覧いただきたいと思います。



マーク・トウェイン
画像提供:
Mark Twain Papers



リデルのマーク・トウェインへのレター
画像提供:
Mark Twain Papers

熊本県立装飾古墳館

期間: 2023年1月28日(土) ~ 5月21日(日)

開館時間: 午前9時30分 ~ 午後5時15分(入館は午後4時45分まで) 休館日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)
入館料: 大人430円(300円) 大学生260円(180円) 高校生以下無料 ※()は20名以上団体料金

企画展「はにわの国 まつ 祀り・奉り・祭り」

熊本県立装飾古墳館では令和5年(2023年)1月28日(土)から5月21日(日)の期間に企画展「はにわの国 祀(まつ)り・奉(まつ)り・祭(まつ)り」を開催します。古墳時代を代表するものである埴輪は家、人、馬などを粘土で形作り、素焼きで焼き上げています。

一般的には、人物埴輪や馬形埴輪が良く知られていますが、これらの埴輪は古墳でどのように使われていたのでしょうか。埴輪のひとつ、円筒埴輪にそのヒントが隠されています。

今回の展示では、埴輪の歴史について分かりやすくご紹介します。主な展示としては山鹿市にあるチブサン古墳出土円筒埴輪や和水町虚空蔵塚(こくんぞうづか)古墳出土人物埴輪、氷川町端ノ城古墳出土鶏形埴輪など、県内から出土した埴輪など24点になります。



和水町虚空蔵塚古墳 出土人物埴輪(巫女)

八代市立博物館

未来の森ミュージアム

期間: 2023年7月14日(金) ~ 8月27日(日)

開館時間: 午前9時 ~ 午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)
入館料: 一般400円(320円)、高大生300円(240円)、中学生以下は無料 ※()は20名以上団体料金

令和5年度夏季特別展覧会「かたちのヒミツ～仕事の道具～」(仮)

夏季特別展覧会は、夏休み中の子どもたちにも親しみやすいテーマで開催しています。今回は昔の道具の「かたち」に注目します。

昔の人たちが生活の中で作り出してきた道具には、使う目的に合わせたさまざまな知恵や工夫が詰まっています。なにげなく付けられているような部品や持ち手の角度、全体のデザインなど、それぞれのかたちにはしっかりとワケがあるのです。本展覧会では特に、八代の農業・漁業・林業の中で使われていた道具に注目し、そこに秘められたかたちのヒミツを紹介します。

展示室には実際に道具を触ることができる体験コーナーも設ける予定です。じっくり見て触れて、昔の道具のかたちに隠れたヒミツを解き明かしてみてください。



くわ2種類
(どんなかたちの特徴があるかな?)

コレクション紹介

ずいこうじあと

あみだどう

わにぐち

瑞光寺跡阿弥陀堂の鰐口



「鰐口」とは、お寺やお堂の正面の軒下や仏像の前に吊り下げられた金属製の仏具です。その形態が鰐の口に似ていることから一般に「鰐口」と呼ばれています。「鰐」とは、「フカ（サメ）」のことを指しています。役割は「霊揺（たまゆすり）」、ガラングランと打ち鳴らして仏さまに來意を伝えるインターホンのようなものです。

この鰐口は、山江村の瑞光寺跡阿弥陀堂に掛けてありました。「奉寄進清源山瑞光寺阿弥陀如来願主」「高橋藤嶋鬼塚于時天文十二年癸卯八月十五日敬白」と印刻された銘文がみられます。天文12年（1543年）に造られ、ずっとこのお堂に掛けられていました。

人吉球磨は中世に造られた鰐口が数多く残存している所です。しかし、その多くは他所から持ち込まれた鰐口です。まったく移動していない瑞光寺跡阿弥陀堂の鰐口は珍しいものです。

画像：山江村指定有形文化財（銅鑄造、片面交代式、総幅21.5cm）

施設紹介 山江村歴史民俗資料館

所在地 球磨郡山江村大字山田甲1360
TEL / FAX 0966-23-3665
開館時間 10:00~17:00(入場16:30まで)
休館日 月曜日、祝日(企画展開催中は開館)、12/28~1/4
入館料 一般200円(団体20名以上150円)高校生以下無料

山江村歴史民俗資料館は、平成11年(1999年)11月11日に開館しました。山江村の歴史と民俗を紹介しています。歴史コーナーでは、縄文遺跡、山田城、高城、山田大王神社の歴史史料や村内仏堂寄託の仏像、鰐口、西南の役に関する史料を展示しています。民俗コーナーでは麻の栽培道具や数多くの農具民具、隠れ念仏コーナーでは、一向宗(真宗)禁制の史料展示や(山田村の伝助と隠れ念仏)をビデオで分かりやすく紹介しています。

博物館のお仕事

天文台からのライブ配信、バーチャル天文部

高精細の4Kプラネタリウムや高さ6mの巨大望遠鏡を備えた本格的な天文台である南阿蘇ルナ天文台では、他では味わえない体験を提供するため、特色あるお仕事をしています。

2016年の熊本地震以降、天文台からのライブ配信構想を進めてきました。そして、天体映像を用いたライブ配信を2018年にスタート、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大を契機に天文台からの配信を本格的に前進させ、視聴者と音声通話やコメント、チャットを通じてのコミュニケーションに重点を置いた配信を実施しています。

また、これまでライブ配信や観察会を行ったことで、『コミュニケーションを通して、様々な視点が交わることで新しい発見、学びが生まれる』という知見が得られ、そこから始まったのが『バーチャル天文部』というオンラインコミュニティです。コミュニティの中で通称『部員』と呼ばれる会員は掲示板でチャットをしたり、星のコンシェルジュ®たちの配信を楽しんだりすることができます。

星空体験は人の生活の質を上げる効果があり、人生を豊かにするものと考えています。時代とともに、星や宇宙を楽しむ継続可能かつ多様な方法が生まれています。

私たちは、時間と空間、人格を越えて、星空体験を楽しむようになりつつあり、その可能性にワクワクしてほしいです。「あなたの日常に星空を」というテーマで新たな取り組みを開発していきたいと考えています。



施設紹介 南阿蘇ルナ天文台

所在地 熊本県阿蘇郡南阿蘇村白川1810
TEL 0967-62-3006
予約制のため、開館時間、休館日はお問い合わせください。

南阿蘇ルナ天文台は、阿蘇くじゅう国立公園内にあり、九州最大級の望遠鏡がある天文台、デジタル式プラネタリウム、原っぱに寝転んで星空を見上げる『星見ヶ原』などがある公開天文台です。そこで行われる『星空体験ツアー』ではキャラの濃い『星のコンシェルジュ®』が星空をご案内しています。



熊本市現代美術館



概要・特徴について

熊本市現代美術館は、熊本市中心市街地の複合ビル3階に2002年10月にオープンした美術館です。多彩な企画展(有料)をおこなうメインのギャラリー以外はすべて無料で利用できます。国際的に活躍する草間彌生、宮島達男、などによるアートワークが鑑賞でき、無料の展覧会も常時開催しています。フリースペースには、ジェームズ・タレルの光の天蓋、マリーナ・アブラモヴィッチのベッドつきの本棚など、アートに囲まれながら美術書から漫画まで、様々なジャンルの書籍を自由に閲覧することができるホームギャラリーや、おしゃれグッズの揃うミュージアムショップ、親子で遊べる遊具や絵本が充実する子育てひろばがあります。その他、午後7時からはピアノ・ボランティアによる生演奏、毎週月曜に映画を無料上映する月曜ロードショーなど、気軽に楽しめるイベントも多数あり、市民の憩いの場となっています。



マリーナ・アブラモヴィッチ《Library for Human Use》2002年
©Marina Abramović、熊本市現代美術館
ジェームズ・タレル《MILK RUN SKY》2002年、熊本市現代美術館

トピックス

2022年秋、熊本市現代美術館は「ART LAB MARKET(アトラボマーケット)」「コミュニケーションスペース&ショップ」と「ホームギャラリー」(図書室)をリニューアルオープンしました。

2021年6月に館長に就任したアーティストの日比野克彦は、街のまん中にある熊本市現代美術館の中に、街と展覧会場の延長線上となるスペースをつくるのが、熊本のまちや人にとって大切であると考えました。この「ART LAB MARKET」は、街、文化、アートが混ざり合い、人々が自然と集うことができるような場所をめざしています。ふらりと訪れてワークショップやイベントに参加したり、ショッピングを楽しんだり、たまたま出会った人とおしゃべりをしたり、誰かのアイデアを知って刺激を受けたり。ここでさまざまなことが起こり、現在進行形で変化していく様を楽しんでいただきたいと思います。

また、「ホームギャラリー」(図書室)は、開館時から当館の「顔」を担ってきた場所です。6000冊の本に囲まれたこの場所は、2002年の開館以来、さまざまな人が訪れ、それぞれの目的で過ごしてきました。このホームギャラリーに設置している椅子や机といった仕器も、今回の開館20周年にあたり、リニューアルを行いました。



メッセージ

リニューアルにあたっては、クラウドファンディングを行い、多くの方からご寄付をいただきました。市民の皆さまと一緒にリニューアルした熊本市現代美術館。これからも市民とともに熊本の街を盛り上げていきたいと思います。

熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3

TEL 096-278-7500

開館時間 10:00~20:00 (有料企画展の入場は19:30まで)

休館日 火曜日(ただし火曜が祝日の場合は翌平日休館)、年末年始

入場料 無料(企画展は有料)





天草ロザリオ館



概要・特徴

天草ロザリオ館がある天草市天草町大江地区は、世界文化遺産となった崎津地区や今富地区などとともに、島原・天草一揆で全滅したとされていたキリシタンが160年余りを経て多数発見された潜伏キリシタンの里です。

1614年にキリシタン禁制が発令されて以来、明治時代に禁制が解かれるまでのおよそ300年間、信者たちは密かに信仰を守り続けてきました。キリシタン禁制の解禁後、この地に教会(旧大江教会)が建てられ、キリシタン復活の中心地となりました。また、昭和7年には天草への伝道に生涯を捧げたガルニエ神父が地元住民と協力して白亜の教会(現大江教会)を建立し、現在でも信仰が守り続けられています。

天草ロザリオ館では、潜伏キリシタンの歴史や文化に関する資料を数多く展示し、キリシタンの里・大江に伝わる信仰と弾圧の歴史を詳しく紹介しています。



天草ロザリオ館の館内

常設展示

キリスト教の禁教期に、潜伏キリシタンたちが使用していたとされる信心具や、人目を避け密かに祈りを捧げていたかくれ部屋の復元、潜伏キリシタンにまつわる古文書などを展示しています。中でも、経消しの壺・メダイ・鏡などの「キリシタン禁制遺物」は、真実性の高い信心具として熊本県の重要文化財に指定されており必見です。また、大江の歴史や特徴などを分かりやすく紹介する映像も大型スクリーンで放映しています。



キリシタン禁制遺物

おすすめの収蔵品

潜伏キリシタンが、葬儀の際のお経を閉じ込めるために使用したとされる「経消しの壺」です。禁教期、潜伏キリシタンたちは葬儀を仏式で行わなければならなかったため、仏僧のお経を壺に閉じ込め、ひっそりとオラショ(祈り)を唱えながら死者を送っていました。

経消しの壺の展示スペース前には、復元したかくれ部屋も設置しており、当時の信仰の様子を感じることができます。

今後の予定

天草市には、天草ロザリオ館などキリシタン関連の資料館が4館あり、すべての館をお得に巡ることができる周遊観覧券を販売しています。

今年は、天草の崎津集落が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録されて5周年を迎えます。この機会に、周遊観覧券を使って天草のキリシタン史を学んでみませんか。皆様のご来館をお待ちしています。



天草ロザリオ館



天草キリシタン館

天草ロザリオ館

〒863-2801 熊本県天草市天草町大江1749

TEL 0969-42-5259

開館時間 8:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)、12/30~1/1

入館料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円

団体(20名以上)は2割引

周遊観覧券 大人600円、高校生400円、小・中学生300円※7日間有効



天草コレジヨ館



崎津資料館みなと屋

展示イベント・情報 (2023年4月~2023年9月)

県央

展示

イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 熊本県立美術館 (本館) 熊本市中央区二の丸2番 ☎096-352-2111 開館時間/9:30~17:15 (入館は16:45まで) 休館日/月曜日(祝日の場合は翌平日) 入館料/本館第2展示室: 一般280円、大学生170円 別棟展示室: 一般210円、大学生130円 別棟展示室との共通券: 一般430円、大学生260円 ※高校生以下および障がい者手帳をお持ちの方は無料 ※特別展は展覧会ごとに異なります。							
		4/11~6/25 美術館コレクションI			一般280円		
		4/14~7/2 細川コレクションI 白隠と仙厓			一般210円		
				一般280円	7/15~9/10 美術館コレクションII		
				一般210円	7/19~10/1 細川コレクションII 二の丸☆バードウォッチング!		
				未定	7/22~9/18 令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち 一名作でたどる日本と西洋のアート		
					未定	9/16~11/12 美をつくし ~大阪市立美術館コレクション	
			5/20 14:00~15:00 無料 ミュージアムセミナー:熊本の工芸			8/19 14:00~15:00 無料 ミュージアム セミナー: 20世紀美術の 冒険者たち	
					10:00~16:00 無料	8/27	
					おわたったアートのポスターさしあげます2023		
2 熊本市現代美術館 熊本市中央区上通町2番3号 ☎096-278-7500 開館時間/10:00~20:00 (展覧会入場は19:30まで) 休館日/火曜日(祝日の場合は翌平日)、 年末年始 入館料/無料							
		2/11~4/16 坂口恭平日記		一般1100円、 シニア900円、 学生(高校生以上)600円、 中学生以下無料			
			4/29~6/25 CAMKコレクション展 vol. 7 未来のための記憶庫		一般600円、 シニア500円、 学生(高校生以上)400円、 中学生以下無料		
3 熊本県伝統工芸館 熊本市中央区千葉城町3-35 ☎096-324-4930 開館時間/9:30~17:30 休館日/月曜日(祝日の場合は翌平日) 入館料/無料							
		1/31~4/2 The Craftsman		一般210円、 大学生130円、 高校生以下無料		一般210円、 大学生130円、 高校生以下無料	
			4/28~9/3 木葉猿1300年展				

※掲載している情報は発行時点のものです。最新の情報は各館ホームページ等でご確認ください。

県央

展示

イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
4 くまもと文学・歴史館 熊本市中央区出水2丁目5番1号 ☎096-384-5000 開館時間／9:30~17:15 休館日／火曜日(祝日の場合は翌平日)、 毎月最終金曜日、 特別整理期間、 年末年始(12月28日~1月3日) 入館料／無料	3/15~5/8 収藏品展 アーカイブズに見るくまもと21	5/19~7/3 収藏品展 アーカイブズに見るくまもと22	7/21~9/25 企画展 マンガ県くまもと展	無料	無料	無料
5 熊本博物館 熊本市中央区古京町3-2 ☎096-324-3500 開館時間／9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日) 入場料／一般400円、 高校・大学生300円、 小中学生200円	~5月上旬 くまはくSL100歳記念 写真パネル展	~5/14 立田山 ~身近な自然の魅力~	7/15~9/3 新世界 透明標本展	入場料のみ	一般1000円, シニア900円, 大高800円, 中小500円 (博物館入場料込みの金額。 前売はすべて100円引)	
子ども科学・ものづくり教室 毎月2~3回実施します						
6 肥後の里山ギャラリー 熊本市中央区練兵町一番地 肥後銀行本店1階 ☎096-326-7800 開館時間／9:30~16:30 休館日／日曜、祝日、年末年始 入館料／無料	3/13~6/3 熊本の現代作家展VIII 上妻利弘展 SEIMEI	4/8 13:30~ 40分程度 無料 作家を囲んだギャラリートーク 熊本の現代作家展VIII 上妻利弘展SEIMEI	5/13 13:30~ 40分程度 無料 作家を囲んだギャラリートーク 熊本の現代作家展VIII 上妻利弘展SEIMEI	5/20 13:30~15:00 300円 里山ギャラリー講座 永青文庫研究の最前線 織田信長文書の宝庫・熊本—その背景と現代的意味—	6/19~9/9 肥後銀行 コレクション展	7/8 13:30~15:00 300円 里山ギャラリー講座 永青文庫研究の最前線 1620年代 細川家の葡萄酒製造とその背景
					7/22 13:30~15:00 300円 里山ギャラリー講座 永青文庫研究の最前線 1620年代 細川家の葡萄酒製造とその背景	9/30 13:30~15:00 無料 里山ギャラリー歴史・文化講座 「島原大変肥後迷惑」にみる災害伝承と復興政策

県央

展示

イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
7 リデル、ライト両女史記念館 熊本市中央区黒髪5丁目23番1号 ☎096-345-6986 開館時間／9:30～16:30 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料／無料	4/2～12/24 ハンナ・リデルのマーク・トウェインへの「The LETTER展」～北米の旅～					
				無料		
8 熊本市塚原歴史民俗資料館 熊本市南区城南町塚原1924 ☎0964-28-5962 開館時間／9:00～16:30 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料／一般200円、 中小生100円	4/16 10:00～12:00 入館料 編布づくり教室	4/23 9:30～12:00 入館料 土器づくり教室(春)		5/28 9:00～15:00 入館料 押し花缶バッジづくり教室	6/3 10:00～12:00 入館料 榎実鉄砲を作って遊ぼう	6/25 10:00～12:00 入館料 藍染体験教室(生葉染め) ～藍の色は愛の色～
						7/30 10:00～12:00 入館料 藍染体験教室(生葉染め) ～藍の色は愛の色～
						8/11 10:00～12:00 入館料 古代織体験教室
9 熊本国際民藝館 熊本市北区龍田1丁目5-2 ☎096-338-7504 開館時間／10:00～16:00 休館日／月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、 4月、8月、12月 入館料／大人400円、 学生300円、 中学生以下無料	5/2～7/30 民藝 ～ 用の美 その4 籠とざる					
					400円	
				400円	民藝 ～ 用の美 その5 布と和紙	9/1～11/30
10 熊本県博物館 ネットワークセンター 熊本県宇城市松橋町豊福1695 ☎0964-34-3301 開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日)、 年末年始 入館料／無料	3/14～5/14 身近で出会う「ちょっとあぶない？」植物					
				無料		
			5/23～7/23 くまもと絵葉書ものがたり		無料	
				無料		8/1～10/1 よみがえる学校の標本たち ～熊本県内の理科室から～ (仮)

※掲載している情報は発行時点のものです。最新の情報は各館ホームページ等でご確認ください。

県北

展示

イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
11 玉名市立歴史博物館 こころピア 熊本県玉名市岩崎 117 ☎0968-74-3989 開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日、祝日の翌日、年末年始 入館料／一般300円、大学200円	2/25～5/21 特集展示 金栗四三展	5/5 9:00～16:30 大学生以上は有料 こどもの日たんけん! 博物館	6/3～7/2 特集展示 赤星亮衛展	7/22～9/18 企画展 吊うー玉名びとのお墓事情ー	7/22～8/27 9:00～16:30 大学生以上は有料 夏休みたんけん! 博物館	
12 熊本県立装飾古墳館 熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地 ☎0968-36-2151 開館時間／9:30～17:15(入館は16時45分) 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料／大人430円(300円)、 大学生260円(180円)、 高校生以下無料 ※()は20人以上団体料金	1/28～5/21 はにわの国～祀り・奉り・祭り～	5/27～7/16 くまもと南部の古墳文化1 人吉・球磨の装飾横穴	7/22～9/3 平和への誓約展	9/9～1/28 くまもと南部の古墳文化2 板石積石棺墓に葬られた人々		
13 山鹿市立博物館 熊本県山鹿市鍋田2085 ☎0968-43-1145 開館時間／9:00～17:00 (入館は16時30分まで) 休館日／月曜日・祝日の翌日・年末年始 入館料／一般・大学生270円、高校生以下70円(山鹿市内の小中学生は無料)			7月～9月 令和5年度夏季企画展 昭和、昔の暮らし展(仮)			
14 まちかど資料館 熊本県菊池市隈府1-2 ☎0968-24-6630 開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、 年末年始 入館料／一般・15歳以上220円 中学生以下110円 未就学児無料	4/1～7/17 菊池市所蔵絵画展：高木古泉の世界		7/22～11/19 菊池市の無形民俗文化財(仮)			

県北

展示

イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>15 合志市歴史資料館</p> <p>熊本県合志市福原2922</p> <p>☎096-248-5555</p> <p>開館時間／9:00～16:30 休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日)、 毎月の月末日、年末年始 入館料／無料</p> 				<p>無料</p>	<p>7/1～1/28 合志市の地名 - その由来と伝承 -</p>	
<p>子ども歴史・科学体験教室</p> <p>毎月1回、9:00～11:30 に開催予定。合志市内小学生対象。参加費無料。</p>						
<p>16 坂本善三美術館</p> <p>熊本県阿蘇郡小国町黒淵2877</p> <p>☎0967-46-5732</p> <p>開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料／一般500円、大高生400円、 中小生200円</p> 		<p>5/13～7/16 見せ場を作らぬ —坂本善三の自然態—</p>		<p>有料</p>	<p>7/22～11/26 コレクション・リーディングvol.7 おぐに美術部と作る善三展</p>	

事前申込が必要なイベントがあります。詳しくは、各館のホームページ等をご確認ください。

くまもとミュージアムMAP



【県央】

- ① 熊本県立美術館
- ② 熊本市現代美術館
- ③ 熊本県伝統工芸館
- ④ くまもと文学・歴史館
- ⑤ 熊本博物館
- ⑥ 肥後の里山ギャラリー
- ⑦ リデル、ライト両女史記念館
- ⑧ 熊本市塚原歴史民俗資料館
- ⑨ 公益財団法人 熊本国際民藝館
- ⑩ 熊本県博物館ネットワークセンター

【県北】

- ⑪ 玉名市立歴史博物館ころろピア
- ⑫ 熊本県立装飾古墳館
- ⑬ 山鹿市立博物館
- ⑭ まちかど資料館
- ⑮ 合志市歴史資料館
- ⑯ 坂本善三美術館
- ⑰ 南阿蘇ルナ天文台

【県南】

- ⑱ 八代市立博物館 未来の森ミュージアム
- ⑲ 山江村歴史民俗資料館
- ⑳ 天草キリシタン館
- ㉑ 天草ロザリオ館

発行／

熊本県博物館ネットワークセンター (ISIL JP-2004104)

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695
TEL: 0964-34-3301 FAX: 0964-34-3302

○記載事項は2023年3月時点で各館から提供された情報に基づいています。
○休館日は、掲載されたもの以外に、年末年始や展示替え期間などの休館があります。
○料金は、企画展、特別展が別料金の場合があります。
○その他、詳しくは各館のホームページ等をご参照ください。